



川崎中ロータリークラブ会報

KAWASAKI NAKA ROTARYCLUB/FOUNDED 1972.7.15

【会長テーマ】 : 健康で明るい環境をつくろう

会 長 金子 利昭
副 会 長 小島 満
幹 事 叶野 聡
S A A 貝田 充
会報委員長 長谷山 尚城

2015~2016

第 2097 回例会

平成 28 年 2 月 16 日

例会日 毎週火曜日 12時30分点鐘
例会場 川崎市中原区小杉町 3-10
ホテル精養軒
TEL(044)711-8855
事務所 川崎市中原区小杉町 3-428
山脇ビル 402号
TEL(044)722-4331 FAX(044)722-6334
E-mail : k-naka@galaxy.ocn.ne.jp
URL:<http://www.kawanaka-rc.com>

例 会 報 告

開会点鐘	金子 利昭会長
司 会	貝田 充 SAA
合 唱	「それこそロータリー」
お客様紹介	市川 実親睦活動委員

ゲスト°か	公益社団法人
金子 洋三様	青年海外協力協会顧問

出 席 報 告

廣山宗一出席委員長

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回訂正出席率		
42名	30名	12名 対象外 (6)	83.33%	欠5名 対象外 (4)	MU1名	97.37%

【本日の欠席者】

市川 宏 会員 三木 治一 会員 叶野 聡 会員
小島 満 会員 宇田 章二 会員 井上 光明 会員
小丸日出夫 会員 鹿島 義久 会員 島 利夫 会員
富岡 昭一 会員 渡邊 新治 会員 小島 徹 会員

今後のプログラム予定

2・3月	プログラム名
第4例会 2月24日 (2/23→24に振替)	第2G 6RC 合同親睦例会 ホテル KSP 3F KSP ホール 点鐘 18:00
第1例会 3月1日	会員お祝い 会員卓話 宇田 章二 会員 「私の生業 宇田 章二」 理事役員会
第2例会 3月8日	川崎商工会議所 副会頭 鈴木 直久様

ニコニココーナー

金子 利昭 会員：本日の卓話、公益社団法人青年海外協力協会顧問金子洋三様、よろしくお願いたします。

内藤 幸彦 会員：世界の僻地で頑張っている日本人のかなりの方々、が青年海外協力隊出身者だとうかがっております。その青年海外協力隊の事務局長だった金子洋三様をお迎えできて大変嬉しく思っています。卓話大変楽しみです。

伊藤 文治 会員：本日は、ご多忙の中金子洋三様にはクラブ例会に卓話をいただきありがとうございます

います。

長谷山尚城会員：①金子様本日はよろしくお祈いします。

②Eクラブでメーキャップしました。新鮮でした。

川口 禮敬会員：金子洋三様、卓話ありがとうございます。拝聴させていただきます。

白井 正男会員：公益社団法人 青年海外協力協会顧問
金子洋三様本日の卓話よろしくお祈いいたします。

小林 敏伸会員：本日の卓話、金子様よろしくお祈いいたします。

高木 洋一会員：青年海外協力隊顧問 金子様よろしくお祈いいたします。

細山勝三郎会員：内藤幸彦会員がロバで天然痘撲滅にエチオピアを周られてから、現在の青年海外協力隊のお話楽しみに聞かせていただきます。

池田 亨 会員：金子様、本日の卓話よろしくお祈いいたします。

長戸 隆彦会員：金子洋三様、卓話楽しみにしています。

合計	12件	12,000円
累計	562件	696,000円

会長報告

金子 利昭会長

1. 地区より2018-19年度ガバナーノミニリー・デジグネート告知・確定宣言のお知らせが届いております。

●2018-19年度ガバナーノミニリー・デジグネート

金子 大 氏 (かねこ ゆたか) (横浜中 RC)

*横浜中 RC 推薦

2. ロータリーの友事務所より2016-17年度版ロータリー手帳のお買い上げのお祈いのお知らせが届いております。5月下旬出来上がり予定です。

サイズ等：現年度と同形式

3. 地区より2016-17年度地区研修・協議会開催のご案内が届いております。

日 時：4月3日(日) 12:30~19:05 (登録11:30~昼食準備有り)

場 所：洗足学園 川崎市高津区久本2-3-1

登録料：10,000円/名

出席義務者におかれましては、ご対応よろしくお祈いいたします。

4. 横浜東 RAC より2月第二例会のお知らせが届いております。

日 時：2月20日(土) 13:30~16:30

場 所：洋光台第四小学校コミュニティハウス和室 (13:30~15:00)

はまぎん こども宇宙科学館へ移動

(15:30~16:30)

詳細は回覧いたしますので登録を希望される方は2/18(木)までに、事務局までご連絡ください。

5. 地区より2016-17年度地区研修・協議会部門のサブリーダーとして以下の方が委嘱されました。

拡大・増強 細山 勝三郎会員

6. 地区よりローターアクト交流会開催のご案内が届いております。

日 時：3月5日(土) 点鐘13:00 懇親会17:00

場 所：岩崎学園横浜西口2号館

提出

幹事報告

金子 利昭会長

1. 例会変更

川崎マリーン 3月24日(木) 夜間移動例会
点鐘18:30

家族グルメ会

3月31日(木) 休会

川崎百合丘 3月22日(火) 休会

3月29日(火) お花見移動例会

点鐘 18:00

とん鈴

2. 次週2/23(火)の例会は2/24(水)の6RC
合同親睦例会に振替です。

場 所: ホテル KSP 3F

点 鐘: 18:00

*会長・幹事・SAA・親睦・事務局は17時
までに集合願います。(3Fロビー)

会長・幹事はクラブ名タスキを SAA・親睦
は SAA・フェローシップのタスキを
ご持参ください。

3. <IM(2/9)に使用した名札について>

2/24(水)の6RCでも使用いたしますので、
お手元にある方は当日ご持参ください。

また、6RC欠席の方は事務局まで必ずご返却
をお願いいたします。

昭和40年3月 広島修道学園高校卒業

昭和45年3月 京都大学農学部農林生物学科卒業

昭和50年3月 京都大学大学院(森林生態学)

修士課程中退

昭和52年6月 英国レディング大学 大学院修士課
程(開発社会学)修了

職 歴

S47年 8月 青年海外協力隊員

(エチオピア/天然痘監視員)

S49年 8月 同 帰国

S53年10月 国際協力事業団入団

(青年海外協力隊事務局広報課配属)

S57年 3月 同青年海外協力隊ガーナ調整員

S61年 4月 同青年海外協力隊事務局管理課長代理

S63年 7月 同秘書室長代理

H 2年 9月 同総務部総務課長代理

H 5年 1月 同社会開発協力部

社会開発協力第1課長

H 6年 4月 同青年海外協力隊事務局管理課長

H 9年 6月 同基礎調査部専門調査役

H11年 6月 同地域部準備室副室長

H12年 1月 同青年海外協力隊事務局長に就任

H15年10月 独立行政法人国際協力機構

青年海外協力隊事務局長

H16年 6月 独立行政法人国際協力機構退職

H16年 7月 社団法人青年海外協力協会会長に就任

H24年 3月 公益社団法人青年海外協力協会会長

(代表理事)

H27年 6月 同協会会長(代表理事)引退、

H27年 7月 同協会顧問に就任(現在に至る)

【卓話概要】

昨年11月17日、パシフィコ横浜で、天皇皇后両陛下
をお迎えして、国際協力機構(JICA)主催の青年海外協
力隊発足50周年記念式典が盛大に開かれました。

協力隊事業は、我が国の国際協力事業の一環として、
技術・技能を持った我が国の青年ボランティアを発展途
上国に派遣して国造りに協力する政府事業です。

1965年度にスタートし、初年度はアジアの4か国(ラ
オス、カンボジア、マレーシア、フィリピン)とアフリ

卓 話

～ 公益社団法人青年海外協力協会 顧問 金子洋三様

「世界平和の実現を目指して半世紀

—青年海外協力隊に参加した4万人の日本青年—」



【青年海外協力隊の活動について語る金子洋三様】

【略歴】

本籍地 東京都豊島区(広島市生まれ)

生年月日 昭和22年(1947年)2月20日生まれ

学 歴

カの1カ国、ケニアの計5カ国に40名の青年ボランティアが派遣され、様々な分野での協力活動に取り組みました。

以来この50年間にアジア、アフリカ、中東、中南米、大洋州、東欧総計88カ国に4万人を超える協力隊員が派遣され、その真摯な活動ぶりから我が国の国際貢献の柱の一つとして高い評価を得るに至っています。

それぞれの隊員は、活動分野における現地の人々との協働作業を通じて、派遣地域の社会の発展に寄与しているだけでなく、争いを好まず平和を希求する日本の文化や常に相手の身になって考える日本人の行動様式を通じて、派遣国の人々の日本に対する理解を深め、好感度を上げる役割を果たしています。

協力隊事業がもたらすもう一つの大きなメリットは、協力活動を通じた人材育成機能です。21世紀に入り、世界は大きな変化の中にあります。世界のパワーバランスが大きく動き、また気候温暖化など地球環境問題や貧困や経済格差をめぐる問題をはじめ、人類全体で対処しなければならない課題が次々に生起しています。東西冷戦が終わり、平和な時代の到来を期待した人々の希望を裏切り、21世紀に入った国際社会は、以前にもまして不安定で危険な時代を迎えているようです。

今ほど、国家、民族、宗教、文化の壁を越えて、人々が互いの違いを認め、共通性を確かめあい、ともに生きる「共生」の道を求めることの重要性が高まったことはないと思います。

今後日本がこうした世界の中で生きていく上で、最も大切なのはそういった世界の課題を自らの課題として取り組むことのできる広い視野を持つ「グローバル人材」であり、それに最適なプログラムが協力隊だと思えます。

日本をはじめとする先進国だけでなく、アジアやアフリカなど国際ボランティアを受け入れてきた国々の中で、このプログラムの重要性と有用性に気が付いた国々が、自国の青年を国際ボランティアとして他国に派遣するプログラムを開始しています。自国の青年が他国への協力を通じて、互いに学び合い、世界を知り、自国をより深く理解することの重要性が広く認識されるようになってきたのです。

私たち協力隊経験者が組織している公益社団法人青年海外協力協会（JOC A）は、2013年から3年間アフ

リカのボランティアを東日本大震災の被災地復興現場に招へいし、日本のボランティアと協働する事業を試験的に実施し、大きな手ごたえを感じました。

イギリスのV S Oやアメリカの平和部隊、日本の協力隊などがリードして半世紀以上にわたり、多くの青年の「世界平和への志」をつないできた国際ボランティア運動が、先進国、途上国の垣根を超えた双方向型ボランティア運動という新しいステージへの第一歩を踏み出す試みが始まっています。

奨学生レポート

米山奨学生：李 香福様

「卓話について」

毎月、例会に参加するたびに様々な分野で飛躍している方達の貴重な話が聞けるため、卓話の時間は楽しみである。私は卓話で日本に来てこれまで経験したことや、米山奨学生になってから体験したこと、そして、自分の研究内容について話した。皆さんに比べると大した内容ではないが、ロータリアン方達は耳を傾けて注目し聞いて下さった。私が感じた日本と韓国の大学生活の違い、サークル活動や就活など話した後、奨学生の皆と参加したバス旅行やイベントの写真を見せながら奨学生としてどういう活動をしているのかを紹介した。そして、現在、研究している内容について発表した。少し専門的な話で、つまらなく感じるのではと思ったが、興味を持って、話を聞いて下さった。ロータリアンの方達の中では近い業界で活動している方達もいらっちゃって、卓話が終わってから、質問を沢山受け、研究について議論する貴重な時間が出来た。学校で毎週のように行う研究発表ではあまり緊張しないが、卓話ではすごく緊張した。それは、淡々と研究成果を報告するのとは違い、自分について話したためだと思う。また、聞いている方達が各業界のベテランの方ばかりだったのを考えると、緊張せざるを得ないのも当然だと思う。しかし、卓話を通じて少しはロータリアンの方達に私自分について分かってもらえたと思うと、とても大事な時間だったと考える。